

令和4年度「論理・表現 I」シラバス

| 学年 | 学科・コース等 | 教科 | 科目 | 単位数 | 履修形態 |
|------------|---|----|---------|----------------|------|
| 1 | 普通科・美術科 | 英語 | 論理・表現 I | 普通科 2 美術科 1 | 必修 |
| 教科書 | Vision Quest English Logic and Expression I | | | | |
| 副教材 | Vision Quest English Logic and Expression I WORKBOOK Ultimate 総合英語 スマートレクチャーコレクション Vintage | | | | |

| 学習の目的 | |
|-------|--|
| 1 | 場面に応じて、文法や語彙を積極的に活用し自分の考えを書いたり、話す人材に育つ。 |
| 2 | 他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができる人材に育つ。 |

| 学習の目標 | | 評価の割合 |
|--------------------------|---|-------|
| I 知識・技能 | 場面に応じて、自分の考えを書いたり、話したりするための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。 | 4 |
| C 思考・判断・表現 | 場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話したりすることができる。 | 4 |
| E 学びに向かう力・人間性等 | 他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができ、他者にも影響を与えていくことができる。 | 2 |

| | | |
|-------------------|-------|------------------------------|
| つ け たい 力 | みつめる力 | 課題に気づく力・要約する力・語彙や文法の習得力・段取り力 |
| | きわめる力 | タイムマネジメント力・実践力・行動力・協働力 |
| | つなげる力 | 共感力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力 |

| 評価方法 | I | C | E |
|---|---|---|---|
| ◇ 1学期・2学期・学年末考査を実施します。大学入試個別試験に対応できる記述問題で「思考を促す問題（思考判断表現）」に関する記述問題を出題します。 | ○ | ○ | |
| ◇ 知識・技能に関しては、二高 I C E モデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。 | ○ | ○ | |
| ◇ googleclassroom「課題」を活用し、思考を促す問いの記述課題を出題します。 | | ○ | ○ |
| ◇ googleclassroom「質問」を活用し、自分の学びや態度を思考する記述課題を出題します。 | | | ○ |
| ◇ プレゼンテーションやスピーチテストなどでパフォーマンステストを実施します | | ○ | ○ |

| 履修上の注意および学習のアドバイス等 | |
|--------------------|---|
| ◇ | 予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に予習し、授業に臨むこと 辞書や文法書を積極的に活用します。 |
| ◇ | 学習時間が重要です。毎日1時間の学習時間を意識してください。語学習得は時間が必要です。振り返りを行うこと。 |
| ◇ | 即興型ディベートを行っています。チームの中で自分の役割を明確にして積極的に参加してください。 |
| ◇ | google classroom・google Meetを使用してディベートやプレゼンやスピーキングも行っていきます。 |

年間指導計画

| 学期 | 月 | 学習内容 | 学習のねらい・目標 | 考査 | 思考を深める問い (C・E) | I: 知識理解 | C: 思考判断表現 | E: 学びに向かう力・人間性 |
|------|----|--|---|----------------|--|---------|-----------|----------------|
| 第1学期 | 4 | Lesson 1 文の種類 I want to introduce my new friend. | 話題 紹介: 初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 機能 応答する/理由を述べる: 相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。 文法 文の種類: 様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文を用いて表現する。 表現 話すこと[発表]: 自分やパートナーのクラブ活動を紹介する。 書くこと: 学校の規則や好きな科目について書いて伝える。 | | 「聞くこと」や「話すこと」、「書くこと」「やり取り」を通して他者とのつながりながら自分の生き方や在り方などのような影響を与えてきたでしょうか。また自分は他者にどのような影響を与えることができるでしょうか。 | | | |
| | 5 | Lesson 2 文型と動詞 How about joining our group? | 話題 学校生活: 学校の文化祭に参加する留学生との会話を通じて、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 機能 賛成、反対する/聞き直す: 賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。 文法 文型と動詞: 5つの文型と<There +be動詞+主語>の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。 表現 話すこと[やり取り]: 文化祭に行く予定について話し合う。 書くこと: 日常生活や自分の部屋について書いて説明する。 | 中間考査 | | | | |
| | 6 | Lesson 3 時制 I'm planning a day trip this weekend. | 話題 旅行・観光: 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 機能 激励する・励ます/計画する・予定する: 会話の相手を激励したり励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝える。 文法 時制: 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。 表現 話すこと[発表]: 過去に行った旅行の経験について話して伝える。 書くこと: 週末にしたことや来月の予定について書いて伝える。 | 期末考査 | | | | |
| | 7 | Lesson 4 完了形 Have you ever tried it before? Lesson 5 助動詞 | 文法 完了形: 現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。 表現 話すこと[やり取り]: スポーツや音楽の経験について話し合う。 書くこと: 訪れたことのある場所や初めて経験したことについて書いて伝える。 文法 助動詞: 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 表現 話すこと[やり取り]: 将来の夢について伝え合う。 書くこと: 家のルールや子供の頃のこと、いつかやりたいことについて書く。 | パフォーマンス テスト | | | | |
| | 9 | Lesson 6 受動態 | 文法 受動態: 受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。 表現 話すこと[やり取り]: 最近買ったものについて伝える。 書くこと: 好きな小説や最近驚いたことについて書く。 | | | | ○ | ○ |
| 第2学期 | 10 | Lesson 7 不定詞 | 文法 不定詞: 様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。 表現 話すこと[やり取り]: 受け取った贈り物について詳細に伝え合う。 書くこと: 自分の夢、高校生にとって一番大切なこと、日常生活でできないように努力していることについて、書く。 | 中間考査 | | | | |
| | 11 | Lesson 8 動名詞 | 文法 動名詞: 動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝える。 表現 話すこと[発表]: スポーツをすることの利点について話して伝える。 書くこと: 好きなスポーツや活動、楽しみにしていることについて書いて伝える。 | 期末考査 | | | | |
| | 12 | Lesson 9 分詞 | 文法 分詞: 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。 表現 話すこと[発表]: 自分自身や自身の性格について話して伝える。 書くこと: 家族や友だちと撮った写真や日本人の一般的な特徴について書いて伝える。 文法 関係詞: 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。 表現 話すこと[発表]: 日本の文化や遊び、人物について、話して伝える。 書くこと: 家族や友だちの紹介やあなたが今必要としていること、住みたい場所について書く。 | パフォーマンス テスト | | | | |
| 第3学期 | 1 | Lesson 10 関係詞 | | | | | | |
| | 2 | Lesson 11 比較 | 文法 比較: 比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分りやすく説明する。 表現 話すこと[やり取り]: 世界の男女格差の問題について伝え合う。 書くこと: 本と映画のどちらに興味があるか、また最も幸せを感じるタイミングについて書いて伝える。 | 学年末考査 | | | | |
| | 3 | Lesson 12 仮定法 | 文法 仮定法: 仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。 表現 話すこと[発表]: 日本の社会問題について自分の意見を話して伝える。 書くこと: タイムマシンがあったら過去と未来のどちらに行きたいか、また自分や家族のための願い事について書いて伝える。 | パフォーマンス テスト | | | | |

※行事等で変更になる場合があります。